



ワークショップ

地域の災害と防災を考える

-桜区栄和を例として-

2024年(R6年)

11/30(土)

13:00-15:00

今年も地震災害や豪雨災害が起きています。

さいたま市でも今後大きな被害をもたらす可能性がある災害に備えるために、地震防災マップや洪水ハザードマップを作成して公開しています。また、近年航空レーザ計測等により詳細な地形を把握できるようになってきています。

今回は、地震防災マップと栄和地区の細かな地形を学ぶとともに、実際に栄和地区を歩いて、災害時に危険な場所や安全のためにできることについて、みなさまと一緒に考える時間を持ちたいと思います。みなさまのご参加、お待ちしております。

会場：埼玉大学全学講義棟 1号館2階(1-204教室)
対象：どなたでもご参加いただけます（定員20名）
参加費：無料

スケジュール

13:00～13:50 埼玉大学全学講義棟 1号館2階(1-204教室)

話題提供

「さいたま市地震防災マップについて」

埼玉大学 社会変革研究センターレジリエント社会研究部門 准教授 谷山 尚

「栄和地区の地形と水害について」

埼玉大学 社会変革研究センターレジリエント社会研究部門 教授 長田 昌彦

13:50～15:00 埼玉大学から栄和小学校

地震や大雨の際に危険な場所や安全のためにできることについてみなさまと一緒に考えながら徒歩で移動



参加方法

お申込フォームもしくは、右のQRコードからお申込みください。

URL <https://forms.gle/mAbLZ3j7maNxxECZ7>

申込締切: 11/25(月) まで（先着 20名）

Faxでも申込みできます。Fax申込みフォームをご利用ください



主催

埼玉大学 社会変革研究センターレジリエント社会研究部門

協賛

自然災害研究協議会関東地区部会

お問合せ先

info-iirs@gr.saitama-u.ac.jp（埼玉大学社会変革研究センターレジリエント社会研究部門）